令和8年度　予算要求状況について

◎予算要求額

1. 要求総額(一般会計＋特別会計)

歳　　入	459億7,154万円	△2.6%(前年度当初予算比)
歳　　出	474億5,492万円	＋0.6%(前年度当初予算比)
財源不足額	14億8,338万円	△10億3,294万円(前年度当初要求時比)

令和8年度予算の要求は、大型建設事業の実施のほか、原材料価格や労務単価の上昇、物価高騰に伴う燃料費、光熱費などの増加から、予算要求段階での収支ギャップは、14億8,338万円(前年度当初要求時収支ギャップは25億1,632万円)となりました。

自主財源である市税は、新築家屋棟数の増加などから固定資産税の増収要因はあるものの、物価上昇の影響などによる法人市民税の減収など、市税全体では0.8%の減収を見込んでいます。国県支出金は、社会資本整備総合交付金(道路整備分)や学校施設環境改善交付金(中学校分)、障がい者自立支援給付費負担金の増により、合わせて4.6%の増となりました。一方で、地方交付税は、1億8,440万円の減収を、市債は、地方道路等整備事業や中学校施設整備事業が増となったものの、新長戸コミュニティセンター整備事業分の皆減に伴い、5,570万円の減収を見込んでいます。歳入予算全体では、459億7,154万円と前年度当初予算より12億1,976万円(△2.6%)の減額要求となりました。

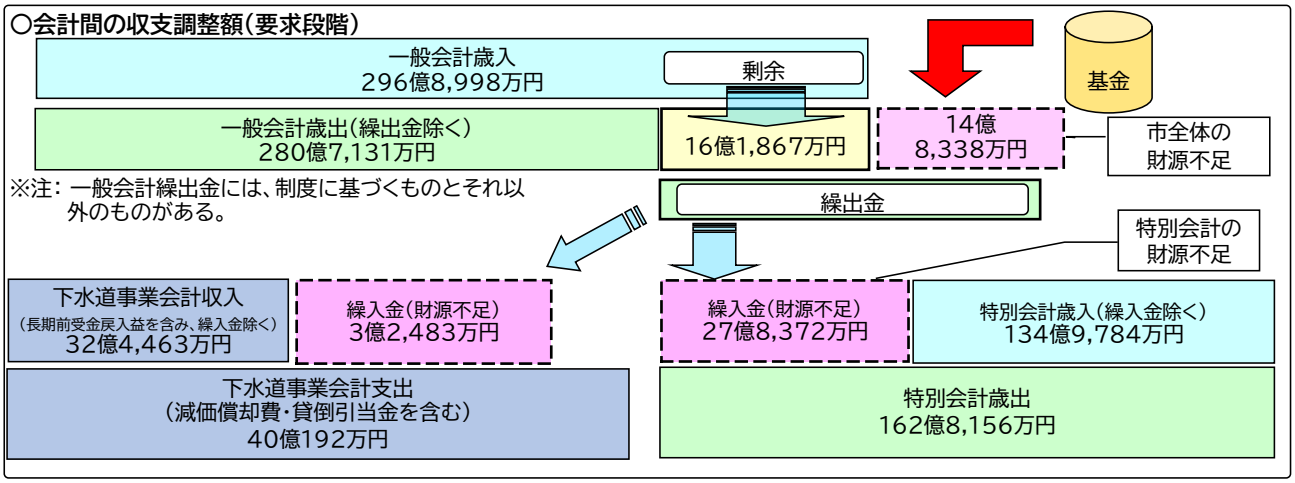
歳出では、北竜台学園整備事業が最終年度となったことや新長戸コミュニティセンター整備事業の終了などにより、大型普通建設事業の規模は縮小となりましたが、子どものための教育・保育給付費や障がい者自立支援給付費をはじめとした社会保障関連経費の増により、歳出予算全体では、474億5,492万円と前年度当初予算より2億6,362万円(＋0.6%)の増額要求となりました。

2. 会計別要求状況

(単位:千円)

会計名		令和8年度要求額		令和7年度当初予算額	対前年度当初予算比		同増減率(%)	
		歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計		29,689,978	31,173,353	31,492,000	△ 1,802,022	△ 318,647	△ 5.7	△ 1.0
国民健康保険事業特別会計		6,922,000	6,922,000	6,867,000	55,000	55,000	0.8	0.8
介護保険事業特別会計		6,784,000	6,784,000	6,489,000	295,000	295,000	4.5	4.5
児童発達支援事業特別会計		143,564	143,564	129,300	14,264	14,264	11.0	11.0
後期高齢者医療事業特別会計		2,432,000	2,432,000	2,214,000	218,000	218,000	9.8	9.8
特別会計　合　計		16,281,564	16,281,564	15,699,300	582,264	582,264	3.7	3.7
総　　計		45,971,542	47,454,917	47,191,300	△ 1,219,758	263,617	△ 2.6	0.6
下水道事業会計	収入予定額	3,569,459		3,111,216	458,243		14.7	
	支出予定額		4,001,916	3,535,348		466,568		13.2

○会計間の収支調整額(要求段階)



◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)		下水道事業会計(繰入前)	
歳　　入	296億8,998万円	-1.7%	134億9,784万円	+3.4%	21億5,528万円	+18.9%
歳　　出	280億7,131万円	-5.6%	162億8,156万円	+3.3%	24億8,012万円	+21.8%
財源不足額	+16億1,867万円		27億8,372万円		3億2,483万円	

※注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

※注:下水道事業会計は収入・支出からそれぞれ長期前受金戻入益と減価償却費・貸倒引当金を除いた額。

2. 特別会計等繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	令和8年度 要求額	令和7年度 当初予算額	対前年度 当初予算比	同増減率 (%)
国民健康保険事業特別会計	525,713	518,838	6,875	1.3
介護保険事業特別会計	1,066,605	1,020,032	46,573	4.6
児童発達支援事業特別会計	99,230	74,116	25,114	33.9
後期高齢者医療事業特別会計	1,092,173	1,063,539	28,634	2.7
特別会計　合　計	2,783,721	2,676,525	107,196	4.0
下水道事業会計	318,318	275,532	42,786	15.5

◎今後の予算編成作業

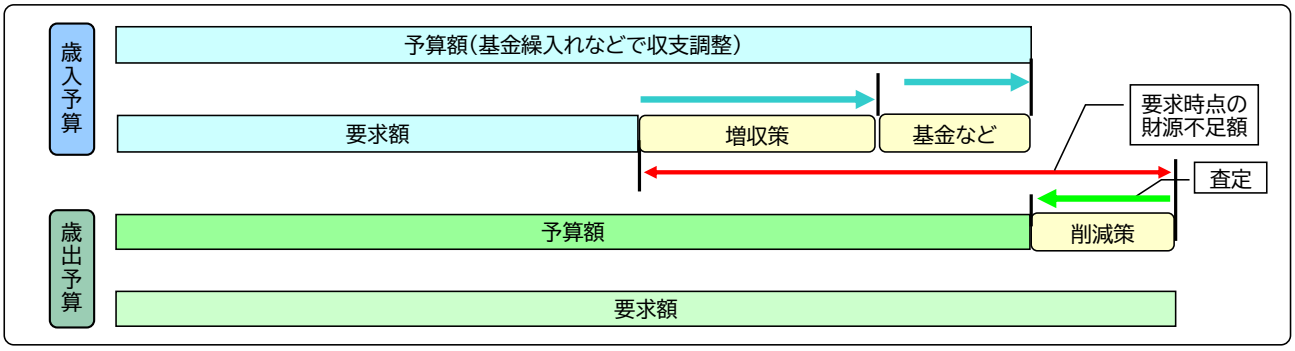
予算要求段階での財源不足額は、総額14億8,338万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、令和8年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、令和5年1月から計画期間となっている、当市の最上位計画「龍ケ崎みらい創造ビジョンfor2030」に掲げる戦略に沿って展開する目標の実現に向け、具体的に推進していく施策に関連する事業については優先的に財源を配分し、その実効性を担保します。

前期基本計画におけるリーディングプロジェクト

◆未来創造プロジェクト～子どもの笑顔が続くまちを創る～

◆魅力創造プロジェクト～もっと魅力が感じられるまちを創る～

◆幸せ創造プロジェクト～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～